

市政に対する

一般質問

今定例会では、13人の議員が9月2日、5日、6日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

坂本達夫議員

- 市の財源の有効活用と天神の湯について
- 電気自動車急速充電器について
- 物価高騰と給食費について
- 県営権現堂公園桜堤のサクラの保全について

四本奈緒美議員

- 買い物弱者支援対策について
- 吉田幼稚園跡地の有効活用について
- 家庭系燃やせるゴミの減量化対策について

小林英雄議員

- 生涯現役社会の実現について
- 大型車両交通規制について

本田謡子議員

- 河川の氾濫における幸手市の指定緊急避難場所と指定避難所について
- 幸手市の災害時応援協定について
- 防災に重要な「ファーストミッションボックス」設置について

松田雅代議員

- 市庁舎建設のあり方検討の進捗について
- 市の洪水対策強化について
- 「デジタル田園都市国家構想」への取り組みについて

大平泰二議員

- 治水対策について
- 神扇地区空き家問題について
- 安心・安全な水道水について
- 繰越明許費について

小林啓子議員

- 「デジタル推進室」の設置について
- 「パーソナル知育絵本」の導入について

小河原浩和議員

- 新型コロナウイルス感染拡大防止等についての市の対策について
- 吉田幼稚園の跡地問題について

青木章議員

- 新型コロナウイルス対応交付金について
- 中学校部活動の対応について

海老沼隆夫議員

- 新型コロナウイルス感染状況について
- 危険な県道・市道について
- 市民人口減少防止対策等について
- 市民の足・循環バスの運行について
- 予想される災害対策等について

木村治夫議員

- 農業経営安定化支援事業について
- 市営釣場神扇池施設修繕事業について
- 杉戸町と幸手市の地域連携協定の実施内容等について

武藤壽男議員

- 市の道路、河川、水路等の維持管理について
- 幸手市下吉羽 350 番地外高圧太陽光発電事業に関する市の対応について

枝久保喜八郎議員

- 県営権現堂公園 2号公園について
- 教育問題について
- 農業問題について

9月定例会

傍聴者		
新型コロナウイルス感染拡大防止の為、傍聴を中止しました。		
議会インターネット中継のアクセス件数		
7月 72件	8月 19件	9月 2011件
の方が視聴されました。		

9月定例会 会期日程
9月1日(本会議)
・開会・会期の決定
・報告事項
・市長提出議案一括上程、提案理由説明
9月2日・5日・6日(本会議)
・市政に対する一般質問
9月12日(本会議)
・議案に対する質疑
・議案の委員会付託
9月13日・14日(委員会)
・文教厚生常任委員会
9月15日・16日(委員会)
・総務常任委員会
9月20日・21日(委員会)
・建設経済常任委員会
9月29日(本会議)
・委員長報告、質疑、討論、採決
・閉会

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ（インターネット映像配信システム）でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 9月定例会の会議録は12月上旬頃公開予定です。

市の財源の有効活用と天神の湯



坂本達夫議員

Q 市の行政課題は色々ある。本庁舎建替え、消防署建替え、道路整備、洪水対策など。しかし、市は、課題解決のための財源が不足している。

天神の湯の収支は、令和3年度は開館日数は0日であるが、管理光熱水費で、約2800万円の赤字。平成29年度は開館日数は346日であるが、約2600万

円の赤字。他の年度も同様に赤字。市は、天神の湯を廃止し、そこに投入した財源を市の課題解決に回すべきである。木村市長の所見を伺う。

A 天神の湯は「幸手市公 共施設個別施設計画」に

おいて、第Ⅱ期中に廃止することとしている。

現在は、新型コロナウイルス感染症の影響による休館に始まり、その間に生じた設備の不良

により、令和2年12月27日の営業を最後に、休館を余儀なくされている状況にあるが、私からは担当部局に対して「個別施設計画」における将来的な位置づけを前倒しして、早期のうちに廃止することを前提とした検討を行うよう指示した。

(市長)

高齢者の買い物支援に移動販売車の導入を



四本奈緒美議員

Q 買い物に不自由を感じている高齢者から、移動販売車の要望の声が寄せられている。

そこで、市の75歳以上の単身世帯数、高齢者のみの世帯数と割合を伺う。

移動販売車が近所に来て、食べたい物、欲しい物を自分の目で見て選んで買う事が出来る。

家から出て人が集まれば、孤立・孤独を防ぐ事も出来る。地域の小さなコミュニティを作る可能性もある移動販売車の導入について、市の考えを伺う。

A 令和4年8月1日現在、

当市の75歳以上の単身世帯数は2539世帯、高齢者のみの世帯数は3613世帯である。全世帯数に対する割合は26・7%である。移動販売車の

導入は高齢者の買い物支援対策として有効な選択肢のひとつであると思われる。しかしながら、行政が単独で実施することが難しいサービスである。流通事業者等の動向を注視するとともに、事業者、行政及び住民が相互連携して買い物弱者支援に取り組めるよう調査研究していく。

(健康福祉部参事)

生涯現役社会の実現へシルバー人材センターの役割



小林英雄議員

Q

シルバー人材センターの活動は、社会参加や健康維持を含めた『生きがい就労』を基本としており、生涯現役社会の実現が求められる今、その役割は非常に重要と考える。
しかし、シルバー人材センターは、失業率の増加、会員の確保、施設の老朽化、導入される予定のインボイス制度による受注への

A

影響等、様々な問題を抱えている。こうした状況の中でも、社会保障費の抑制や、地域活性化にも貢献している、シルバー人材センターへの更なる支援を行うべきと考えるが、市の見解を伺う。
シルバー人材センターは、臨時的かつ短期的な就業、または軽易な業務を請け負っている。近年、定年延長により60代の会員登録が伸び悩んでいる。加えて新型コロナウイルス

(健康福祉部参事)

避難所に重要な「FMB」の設置を



本田謡子議員

Q

「FMB」とは、避難所運営において、誰でも避難所を開設・運営できるように、初めに（ファースト）やるべき任務（ミッション）を記載した「避難所運営マニュアル」と、最低限必要となる用具や物品を入れた箱（ボックス）です。
避難所運営初動作業を、誰でも先に来た人が3〜5人で中心

A

となり開設できるものです。公的な限界を知り、スムーズな開設の為に、FMBの設置を考えますが、市の見解を伺う。
避難所となる施設ごとに、開設に必要な用具や物品を入れたボックスは、設置しておりますが、これは市職員が使用することが前提です。また、初めにやるべき任務を記載した「避難所運営マニュアル」は、作成していません。「F

M B」の仕組みを導入するには、避難所運営について、地域のご理解とご協力が必要です。
今後は、事例の検討も含め、避難所運営について具体的な協議を図れるよう、地域との連携をさらに深めます。

(市民生活部長)

夢のある庁舎建て替えを進めるために



松田雅代議員

Q 現市本庁舎は建築から55年が経過し、老朽化や安全性の観点から速やかな建て替えが求められている。

現在、庁内での整備方針が協議中であるが、夢のある庁舎建て替えを進めるには、将来人口を見据えた幸手市のフューチャーデザインをどう描くか、中長期財政をどう管理するか、財政の将

来シミュレーションの提示は不可欠と考える。
庁舎建設で最も考慮すべきこと、財政の考え方を伺う。

A 庁舎建設で考慮すべき事項として、災害・環境対策、DXの推進、将来人口を見据えた適正規模などが挙げられる。

今後の基本構想策定業務において、他の公共施設の再編を含め、庁舎が有すべき機能、規模、

立地などについて具体的な検討を行う。

建設に向けた基金積立てを行うとともに、建設後の地方債償還を考慮し、世代間負担の公平性の確保や財政負担の平準化を図ることで、持続可能な財政運営を行えるよう事業を進める。

(市長・総合政策部長)

神扇地区空き家問題



大平泰二議員

Q

空き家対策特別措置法で定められた「特定空き家法」は危険性が高く、著しく衛生上有害となる状態で、適切な管理が行われていない空き家を対象としています。特定空き家に指定されると、指導、勧告、命令、に従わない場合、行政代執行となり、解体となりますが市の対策について伺います。

A

空き家対策特別措置法では、「市町村は所有者等による適切な管理を促進するため、これらの者に対し、情報の提供、助言その他必要な援助を行うよう努めるもの」と定めています。

そこで市の対策としては、神扇地区内の当該家屋に廃棄物を持ち込んだ行為者を探して、今後の管理について意思確認を行いたいと考えています。
また、当該家屋の法定相続人

について調査を続け、法定相続人に対しても、状況の改善を働きかけてまいります。

(市民生活部長)



パーソナル知育絵本の導入について



小林啓子議員

Q パーソナル知育絵本との成長状態に合わせて作成するオリジナルの絵本である。主人公を子どもの名前にしたり、好きな物を登場させたりすることで、言葉の理解発達を後押しし、絵本への興味・関心を高めることができる。

地域オリジナル版にすること

が可能で、幸手市独自の子育て支援事業になると考える。是非導入をしては如何かを伺う。

A コミュニケーションの希薄化や子どもの読書離れが危惧されており、乳児期からの読み聞かせや、親子でふれあう機会が、言葉の理解や発達を促すために重要な役割を果たすと考える。パーソナル知育絵本は、興味を示しやすく、親子でのコミュニ

ケーションを楽しむことができる。また、本に親しむきっかけとなり、読み聞かせを通じて子どもの感性が育まれ、考える力や発達を促すことにつながる。ことから、実施に向けて検討を進めているところである。

(健康福祉部参事)

吉田幼稚園の跡地問題



小河原浩和議員

Q 廃止決定から4年、市長就任から3年、廃園から半年が経過し、その検討の間は十分あったと思う。市長は、地元の意見を聞き、プロジェクトチームを作り、スピード感をもって取組むと答弁してきたが、いつまでに決めるのか。また、残されたピアノを「駅ピアノ」など有効活用する考えはないのか伺う。

A 今後の方針を早期に示すことも大切であるが、都市計画法等の法的な規制も含め様々な点を考慮した上で、個別施設計画に基づいて跡地の活用方法を考えていく。

まずは、現状分析をした上で、実態を踏まえ、どう展開していくか、できるだけ市民の皆様にご理解いただけるよう、色々な意見を伺いながらプロジェクトチームにおいて検討していく。また、ピアノについては、庁

内で活用方法を検討し、有効活用していきたい。

(市長)



中学校部活動の対応について



青木 章議員

Q

部活動は、心身をリフレッシュさせるだけでなく、仲間とともに自主的、自発的に行う活動が生徒に喜びと生きがいをもたらし、学校生活を豊かで充実したものにします。幸中93・2%東中91・2%西中86・9%の生徒が、なんらかの部活動をしているのは、素晴らしいことだと思います。幸手市と

A

しても全力応援をお願いしたいところです。そこで、コロナ禍における県大会出場に対して補助金をお願いできないか。また、来年度以降の外部指導員等の対応についても併せて伺います。

コロナ禍における県大会に出場する際の補助金の交付につきましては、近隣市町の交付状況などを参考にしながら、検討して参ります。

来年度以降、外部指導者の導

(教育長)

市民人口減少防止対策等について



海老沼隆夫議員

Q

幸手団地は戸数三千超えで、空き部屋、高齢の一人暮らしも多くなっているが、都心には約1時間、駅からは徒歩10分、隣接して東埼玉総合病院、ヨークフーズ、団地内商店街など。都心に通勤通学する若者達にも住みやすい環境である。

幸手団地に限らないが、他の市町村から転入してくる市民に

A

対して、月額1万または2万円の家賃補助を、1年または2年間行う等の施策とそのPRを行う等、新たな市民受け入れの為の対策を考えられないのかを伺う。

当市においては、昨年6月に人口が5万人を下回り、とりわけ20代から30代前半までの人口流出が著しい傾向にあることから、若者夫婦世帯をターゲットとした、しあわせ

入拡大を図る方向で、関係者との協議を始めたところです。本市としましては、国や県の動向を注視しつつ、近隣市町の先行事例等から、持続可能で効果的な部活動の在り方について研究を重ね、令和5年度からの移行期間3年間で円滑に地域移行が進むよう努めて参ります。

家族ウェルカム補助事業を、令和4年度から実施している。

今後の人口減少対策については、現状人口の動態を分析するとともに、既存の事業の検証をしつつ、新たな移住定住促進施策について検討し、引き続き人口減少の抑制に努めてまいりますと考えている。

(総合政策部長)

杉戸町と幸手市の地域連携協定強化と今後は



木村治夫議員

Q (1)し尿処理管理業務・可燃ごみ処理管理業務等

の内容について伺う。

(2)し尿処理管理業務・可燃ごみ処理管理業務等、良好な関係で事業実施されているが、現状課題・検証等どのように対応されているのか伺う。

(3)今後の自治体間の広域的な連携を活用した(仮称)地域づく

り促進検討会等を設置すべきと考え、杉戸町の見解を伺う。
 杉戸町では、市民行政サービスを安定的、持続的、効率的かつ効果的に提供するために喫緊の問題である。

A 当市では、杉戸町のし尿を、杉戸町では当市の可燃ごみを相互に受け入れてい

る。両市町の処理施設とも経年劣化の傾向がみられることから、改修など今後の運営について協議していく必要がある。

また、今後の自治体間の広域連携については、現時点で予定はないが、従来の枠組みにとらわれず、あらゆる視点において住民の福祉の増進に寄与するものがあれば、議員から提案のあった(仮称)地域づくり促進検討会等も含め検討していく。
 (市長・市民生活部長)

市道や河川、水路等の市の維持管理は



武藤壽男議員

Q 昭和50年代より多額の経費により整備されてきた546kmを超える市道や308kmに及ぶ水路と河川があり、

経年劣化もあり、今後の維持管理が重要です。

殊に、調整区域に於いては、自治会を中心に慣例的に地先管理が行われてきましたが、米価の下落と高齢化、更に後継者不

足により、困難な状況となっております。

管理責任者である市は、これらのインフラ施設の修繕、改修などの維持管理には多額の経費も必要ですが、市の今後の維持管理計画について伺います。

A 幹線道路は維持管理計画に基づき計画的に舗装

修繕を行っており、生活道路はパトロール等により損傷箇所を発見したらその都度修繕を行っ

ています。

河川についても維持管理計画に基づき計画的に維持管理を行っております。

水路については維持管理計画はありませんが、その必要性は認識しています。また、現状把握するため水路台帳の整備も必要と考えています。今後、これらの整備に取り組んでまいります。
 (建設経済部長)

幸手市議会 「議会報告会」について

- 今年度の「議会報告会」は中止します
令和4年度の「議会報告会」は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止することといたしました。ご理解のほどよろしくお願いたします。
- 「議会報告会」とは？
幸手市議会では、市民の皆様と市議会議員とが、直接市政全般について、自由に情報交換および意見する場として「議会報告会」を毎年、実施してきました。

幸手市議会について、ご意見・ご要望をお聞かせください。

- 今年度の「議会報告会」を中止としたことから、来年度以降の開催に向けて、参加者の増大および内容の更なる充実を図ること、そして今、市議会に対してのご意見やご要望をお聞かせいただきたいと思います。
- 【例】
- 市議会だよりをもっと見やすくしてほしい。
 - 本会議で傍聴者にも細かい資料を配布してほしい。
 - 市民の関心が高まるような議会報告会となる工夫をしてほしい。

提出方法

下記のメールアドレス、ファックスで送信してください。
回答は議会だより令和5年2月号をもって掲載いたします。

- ◎ Eメール gikai@city.satte.lg.jp
- ◎ F A X 0480-42-8824
- ◎ 提出期限 令和4年11月30日(水)



県営権現堂公園2号公園オープンについて



枝久保喜八郎議員

Q 「幸手市のアイデンティティを同公園に」の観点で伺います。

- ① 市役所に設置されている著名人の手形を移設して、来園者に喜ばれる名物かつイメージアップに。
- ② 事務的、管理的な公園名称の愛称変更は可能か。
- ③ 開園間近で指定管理者の準備態勢は。

A ① 手形の移設については、今後、幸手青年会議所と協議する。
② 公園の愛称については、今後、埼玉県と協議していく。
③ 開園に向けての準備態勢は、

現在、埼玉県と指定管理者との間で業務内容を調整中である。
④ 東武鉄道の車内広告を活用し、積極的にPRしていきたいと考えている。まずは、埼玉県や指定管理者と相談する。
⑤ 商工会等とデメリットについても協議し、今年度は公園での開催に至った。
(副市長・建設経済部長)